

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

観光産業による交流人口拡大・雇用再生計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道紋別郡遠軽町

### 3 地域再生計画の区域

北海道紋別郡遠軽町の全域

### 4 地域再生計画の目標

遠軽町は、北海道の東北部、オホーツク海沿岸より 20km 内陸に位置し、豊かな森林と清流など豊富な自然環境が残され、そこで作られる肥沃な大地により、農業や林業などの第一次産業が盛んな地域となっており、遠軽町の農業者における団体では、農業体験や加工品の開発、宿泊しながら農作業を手伝う「ファームイン ボラバイト」（以下、ボラバイト）の受け入れなど、さまざまな取り組みが行われている中、このボラバイトの数は徐々に増え、今では、年間 50 人ほどが来ている。

また、遠軽町では、白滝ジオパークをはじめ、自然環境をテーマにしたさまざまな体験型の観光を楽しむことができ、特に冬季においては魅力的な体験プログラムが多く存在しているが、これらをワンストップで紹介する媒体や各プログラムを連携した取り組みなどが行われておらず、本町の魅力を十分に発信できていない。

現在、ボラバイトや農業体験者に、農業以外の本町の魅力伝える仕組みが十分ではないことから、これらを実行する組織を確立し、グリーンツーリズムと自然環境をテーマにした体験型観光の連携により、交流人口の拡大と雇用の増加、さらには移住・定住の促進により、これまで続いている人口減少の抑制を目指すものである。

#### 【数値目標】

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末
観光入込客数	260,000 人	280,000 人	300,000 人
ガイド人数	3 人	5 人	7 人
移住・定住人数	2 人	5 人	10 人

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

遠軽町の基幹産業であるグリーンツーリズムと、白滝ジオパークをはじめ、自然環境をテーマにしたさまざまな体験型の観光プログラムを連携したメニューの開発や自然環境を生かした新たなプログラムの調査・開発により、ボラバイトや交流人口の拡大を推進するとともに、各プログラムのガイドとしての雇用の創出と移住・定住の促進を目指す。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

#### 地方創生推進交付金【A3007】

#### 1 事業主体

北海道紋別郡遠軽町

#### 2 事業の名称及び内容：グリーンツーリズムと冬の観光資源を活用した縁（えん）があるまち交流人口拡大事業

本事業では、観光客をワンストップで迎え入れるための組織を設立し、グリーンツーリズムと白滝ジオパークをはじめ、自然環境をテーマにしたさまざまな体験型の観光プログラムを連携したメニューの開発や新たなプログラムの調査・開発を行うとともに、プロモーション映像やホームページ、パンフレット等の情報発信ツールを作成し、各種媒体によるPR活動を行い、都市部からくるボラバイトや交流人口の拡大を推進する。

また、グリーンツーリズムと地域資源を活用した体験型観光の連携を図るためのコーディネーターには、地域おこし協力隊員等を活用するとともに、各プログラムのガイドとしての雇用の創出と遠軽町の魅力拡大による移住・定住の促進を目指す。

ガイドの育成・確保に当たっては、ジオツアーに係るガイド等を活用しながら、通年にわたって安定的な収入を確保することで、ガイドという仕事の自立を図る。

#### 3 事業が先導的であると認められる理由

##### 【官民協働】

- ・行政、観光協会、プログラム実施事業者、農業者、ボランティア団体等が参画する協議会を設立し、それぞれの体験プログラム実施事業者の取り組みを、行政の支援によりコーディネートすることで商品化し、観光協会が事務局となってその商品を販売することで、組織を自立する仕組みをとっている。

##### 【政策間連携】

- ・グリーンツーリズムと冬季観光施策の連携により、農業の魅力拡大及び農業における労働力の確保を図るとともに、遠軽町の交流人口の拡大にも効果がある。

また、交流人口が拡大することで、体験型観光によるガイドという雇用の創出にも効果を発揮する。

#### 【自立性】

- ・協議会の事務局を担う人材を、地域おこし協力隊の活用により観光協会に配置して確保・育成し、将来的には、通年にわたる農業と観光をセットにしたツアーの商品化を図り、事業収入を確保することで組織の自立化を目指す。

#### 4 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末
観光入込客数	260,000 人	280,000 人	300,000 人
ガイド人数	3 人	5 人	7 人
移住・定住人数	2 人	5 人	10 人

#### 5 評価の方法、時期及び体制

毎年度、3月末時点の KPI の達成状況を総務部企画課が取りまとめて、“縁（えん）があるまち”遠軽町まち・ひと・しごと創生総合戦略を評価・検証する組織により事業の効果検証を行い、議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。

また、達成度の割合が著しく低い場合には見直しを行うとともに、検証結果は、町ホームページや広報紙などで広く町民に公表する。

#### 6 交付対象事業に要する費用

法第 5 条第 4 項第 1 号イに関する事業【A3007】

- ・総事業費 38,701 千円

#### 7 事業実施期間

地域再生計画認定の日から、平成 31 年 3 月 31 日（3カ年度）

#### 5-3 その他の事業

##### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

##### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

###### 1 白滝ジオパークとグリーンツーリズムを活用した交流人口の拡大事業

事業概要：白滝ジオパーク推進協議会と農業者団体の連携により、白滝ジオパークとグリーンツーリズムを活用した観光ツアーの

開発及び PR 活動により、交流人口の拡大と雇用の創出、移住・定住の促進を図る。

事業主体：白滝ジオパーク推進協議会

事業期間：平成 28 年度～

## 2 Mori Spa Medical tourism による健康のまちづくり事業

事業概要：森林浴、温泉、医療、をコラボレーションしたメディカルツーリズムを展開することで心と体の健康にいかし、誰もが住みたいまちづくりを目指す。

事業主体：Mori Spa Medical tourism 実行委員会

事業期間：平成 28 年度～

## 3 地域おこし協力隊事業

事業概要：地域おこし協力隊を活用し、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域における活動を通して産業の振興等を図るとともに、その人材の定住、定着を目指す。

事業主体：遠軽町

事業期間：平成 28 年度～

## 6 計画期間

地域再生計画認定の日から、平成 31 年 3 月 31 日

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標達成状況に係る評価の手法

行政評価の手法を活用し、PDCA サイクルによる検証を実施するとともに、“縁（えん）があるまち” 遠軽町まち・ひと・しごと創生総合戦略を評価・検証する組織により事業の効果検証を行い、議会の関与を得ながら検証結果をまとめる。

### 7-2 目標達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

平成 29 年 8 月までに、設定した KPI における達成度の割合を数値化して事業の効果検証を行う。

### 7-3 目標達成状況に係る評価の公表の方法

町ホームページや広報紙などの媒体を使い、検証結果を広く町民に公表する。